

2023年版

# アプリ開発/運用担当者の93.5%が 「アプリリリース後の運用・管理」に課題

6割以上から「外部システムとの連携がとりにくい」と不満の声

---

アプリのコンテンツ管理に関する実態調査  
株式会社サイト・パブリス

## 調査概要

調査実施者

株式会社サイト・パブリス

調査概要

アプリのコンテンツ管理に関する実態調査

調査方法

IDEATECHが提供するリサーチPR「リサピー®」の企画による  
インターネット調査

調査期間

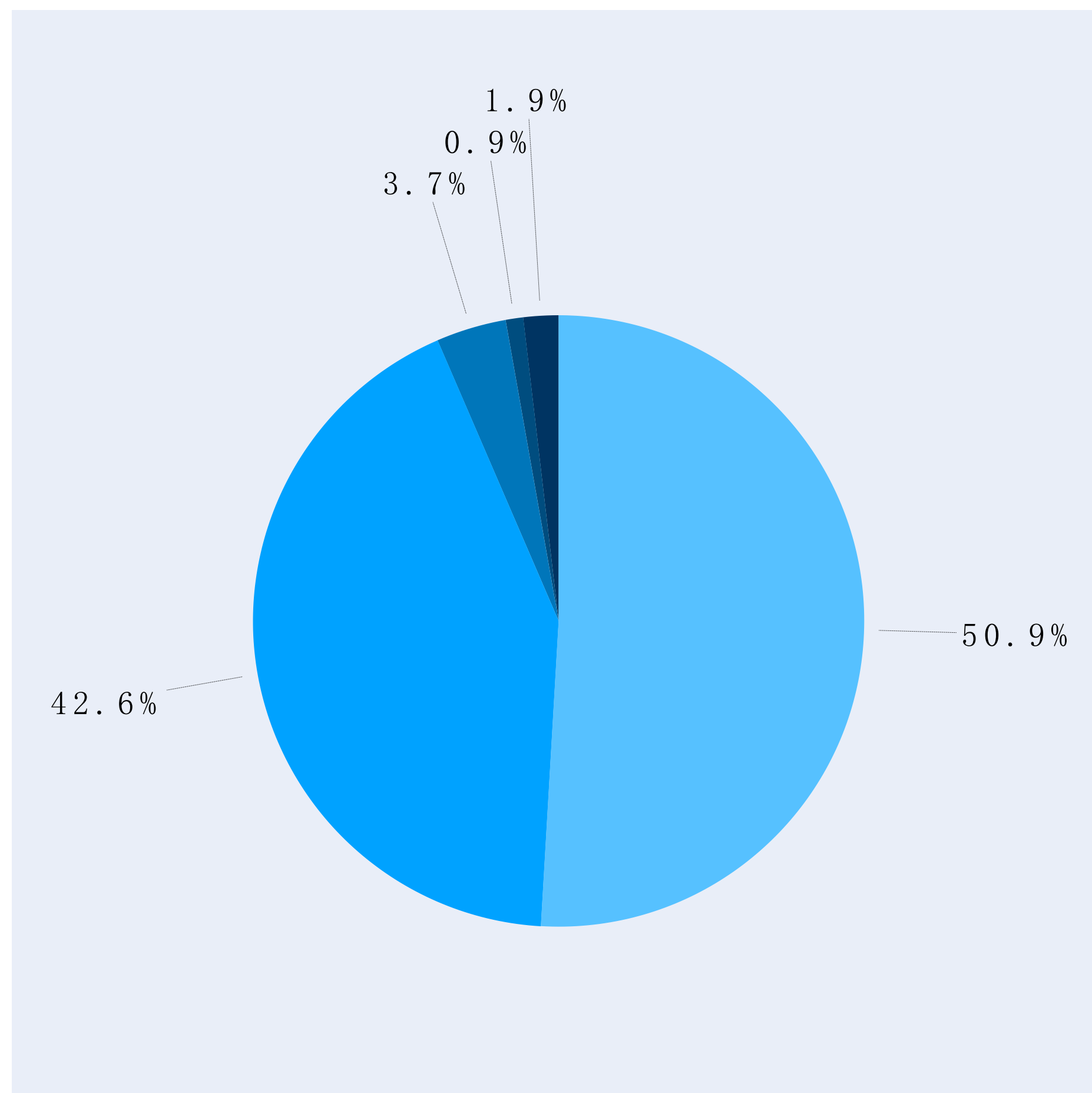
2023年6月7日～同年6月8日

有効回答

スマートフォン向けのアプリを提供している企業の開発/運用担当者108名

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

# Q1 あなたは、アプリリリース後の運用・管理が大変だと感じることはありますか。

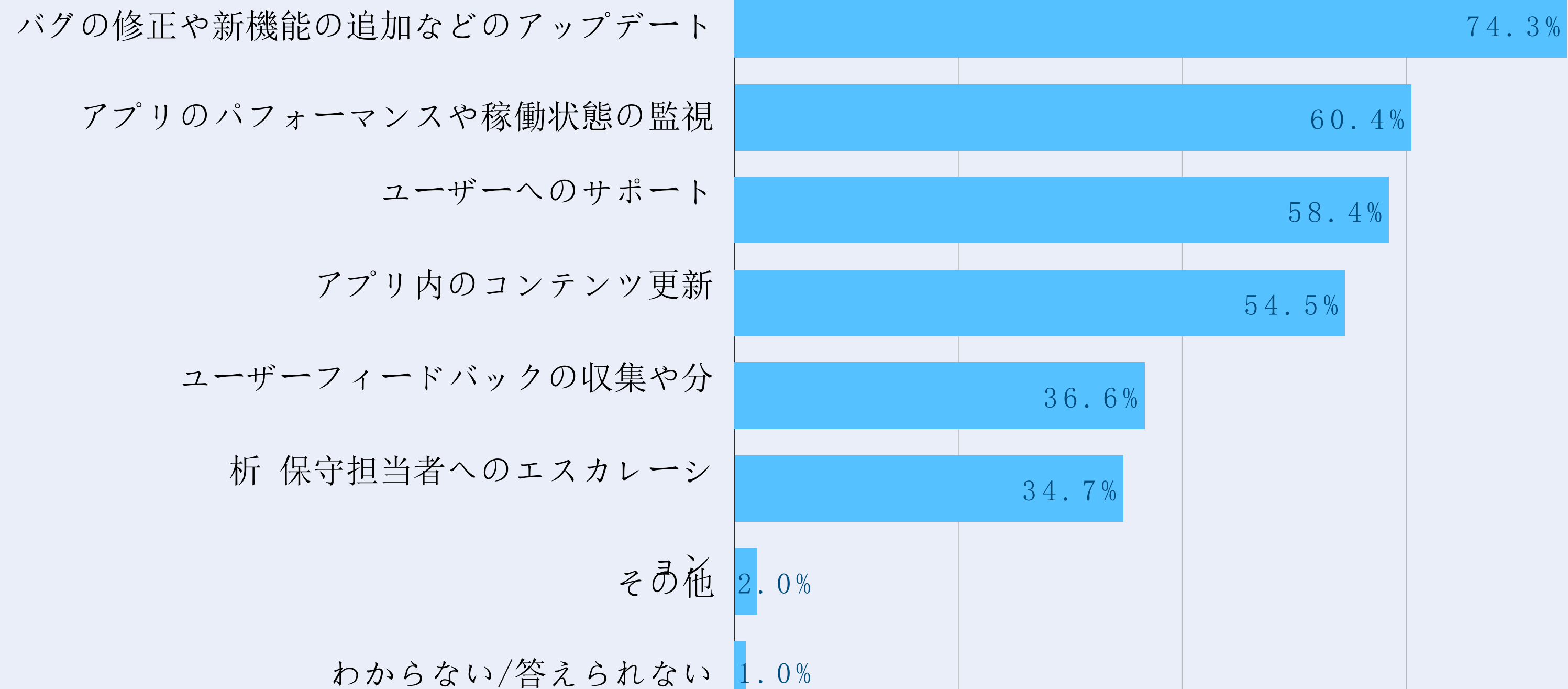


- 50.9% かなりある
- 42.6% ややある
- 3.7% あまりない
- 0.9% 全くない
- 1.9% わからない/答えられない

**9割以上が、  
「アプリリリース後の運用・管理が  
大変」と回答しました。**

## Q2

Q1で「かなりある」「ややある」と回答した方にお聞きします。アプリの運用・管理において大変だと感じることを教えてください。（複数回答）



アプリの運用・管理において大変だと感じること、「バグの修正や新機能の追加などのアップデート」が74.3%で最多となりました。

## Q3

Q2で「わからない/答えられない」以外を回答した方にお聞きします。Q2で回答した以外に、アプリの運用・管理において大変だと感じる事があれば、自由に教えてください。（自由回答）

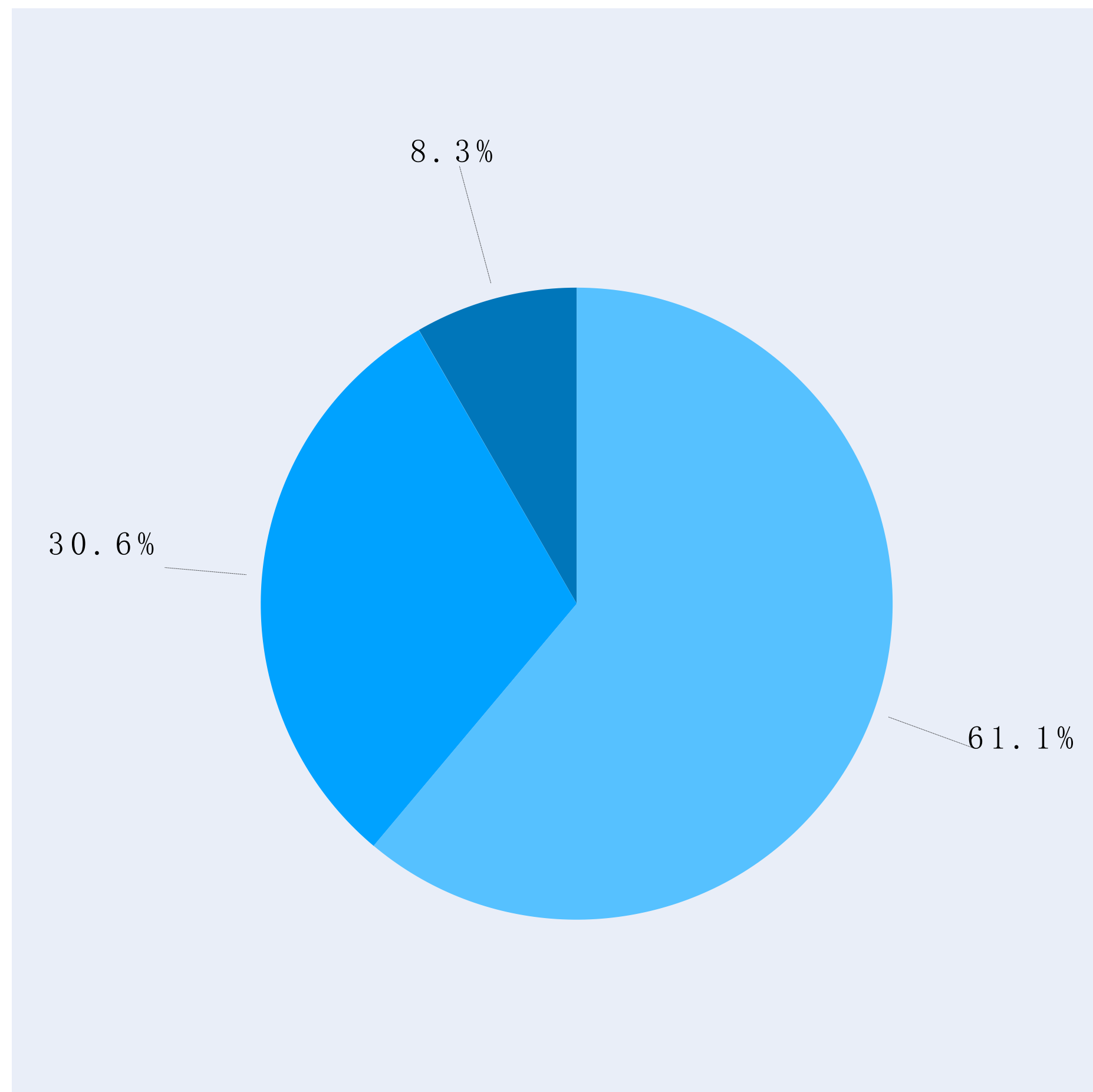
### <自由回答・一部抜粋>

- ・ 55歳： 障害対応。
- ・ 27歳： リリースサイクルや運用の平準化。
- ・ 63歳： システム停止時間が確保できない。
- ・ 38歳： 技術者の育成と担当者の確保。
- ・ 54歳： UIの改修や新機能の実装。
- ・ 34歳： ユーザー数の維持。
- ・ 49歳： 運用保守。

アプリの運用・管理において大変だと感じる事、「障害対応」や「リリースサイクルや運用の平準化」などの声が寄せられました。

## Q4

あなたのお勤め先では、アプリ内のコンテンツ管理においてコンテンツ管理システム（CMS）を活用していますか。

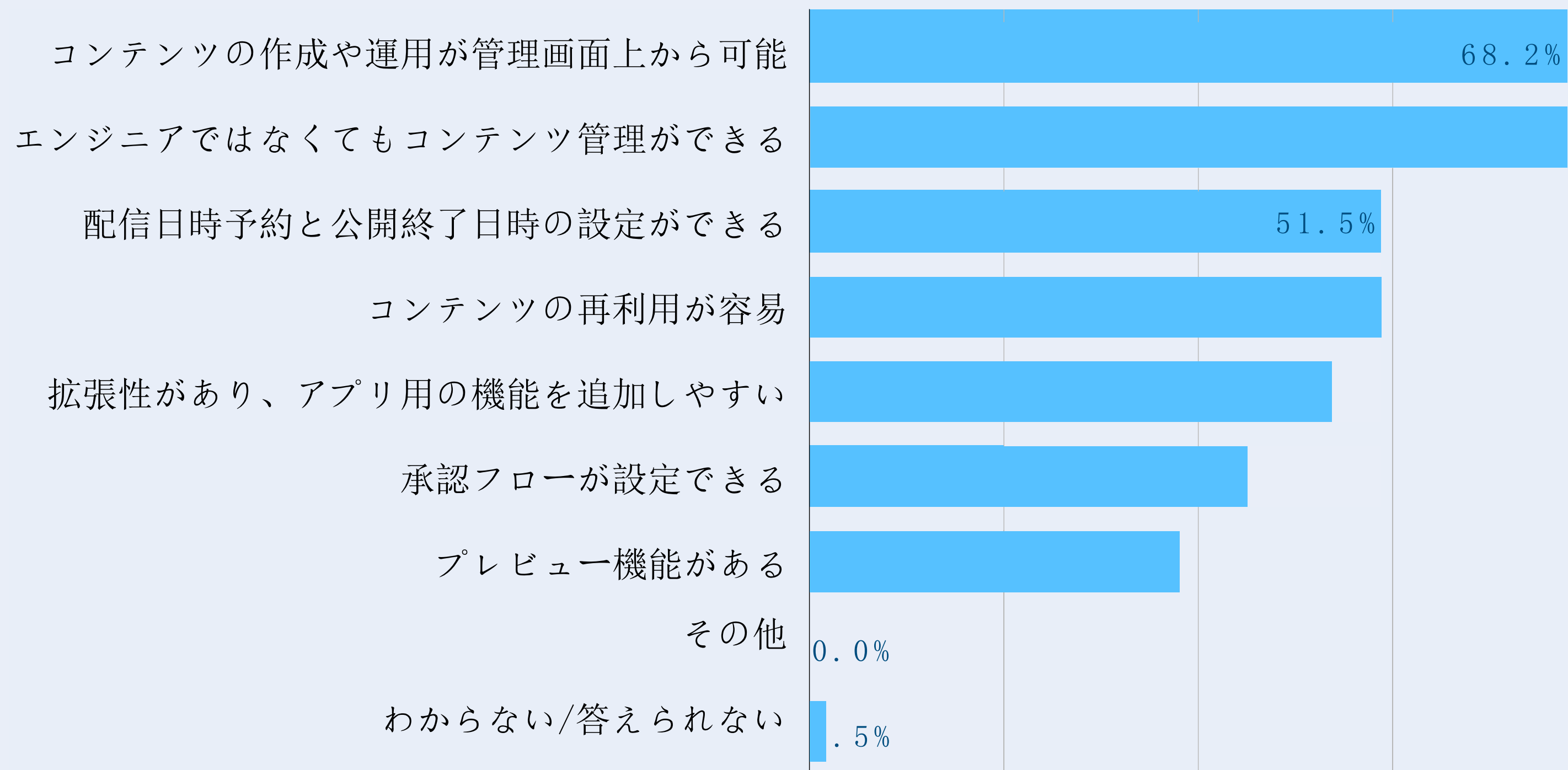


- 61.1% 活用している
- 30.6% 活用していない
- 8.3% わからない/答えられない

約6割が、アプリ内のコンテンツ管理において、CMSを活用中だということが分かりました。

## Q5

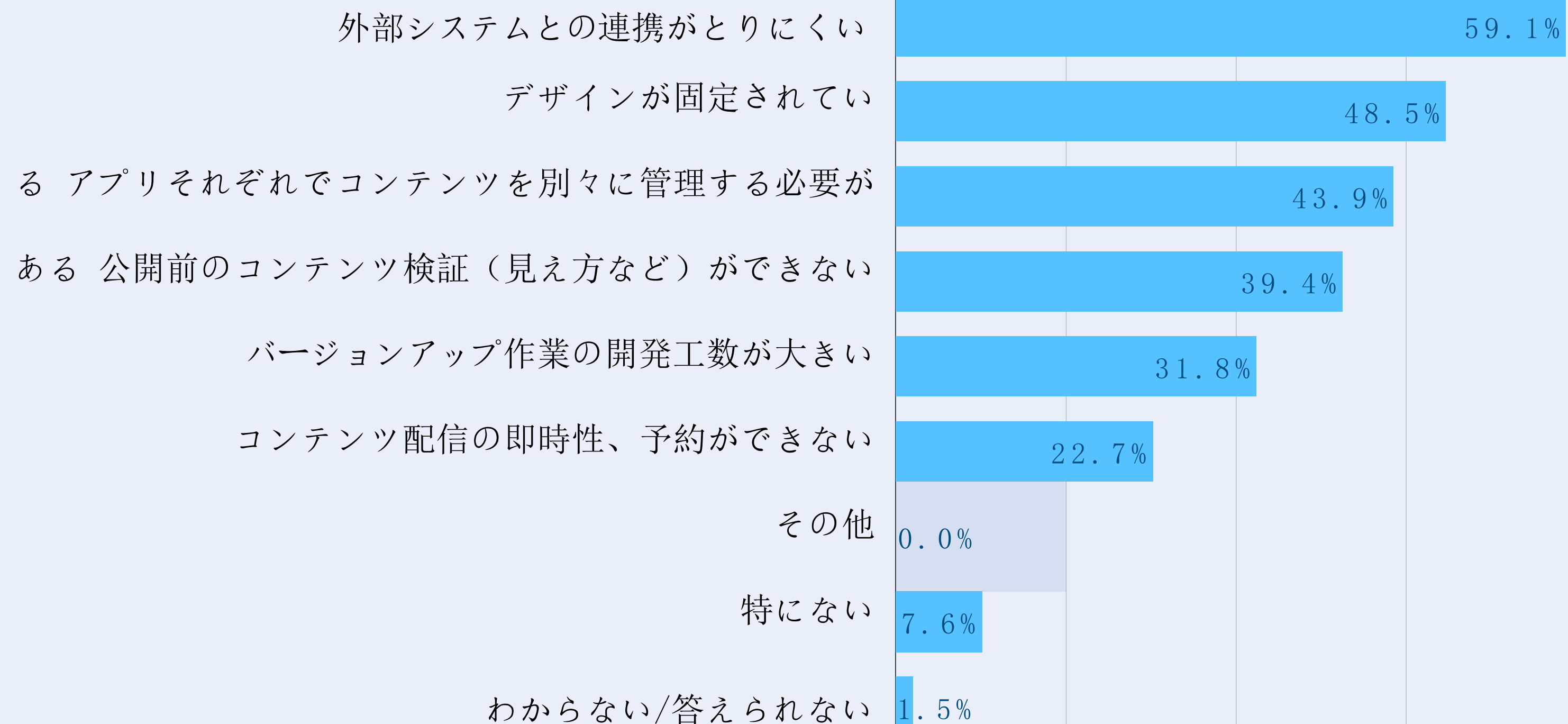
Q4で「活用している」と回答した方にお聞きします。アプリ内のコンテンツ管理においてコンテンツ管理システム（CMS）を活用するメリットを教えてください。（複数回答）



**CMSを活用するメリット、「コンテンツの作成や運用が管理画面上から可能」や「エンジニアではなくてもコンテンツ管理ができる」などの回答が寄せられました。**

## Q6

Q4で「活用している」と回答した方にお聞きします。活用中のコンテンツ管理システム（CMS）への不満があれば教えてください。（複数回答）



活用中のCMSへの不満、「外部システムとの連携がとりにくい」が59.1%で最多となりました。



## Q7

Q6で「わからない/答えられない」以外を回答した方にお聞きします。Q6で回答した以外に、活用中のコンテンツ管理システム（CMS）への不満があれば自由に教えてください。（自由回答）

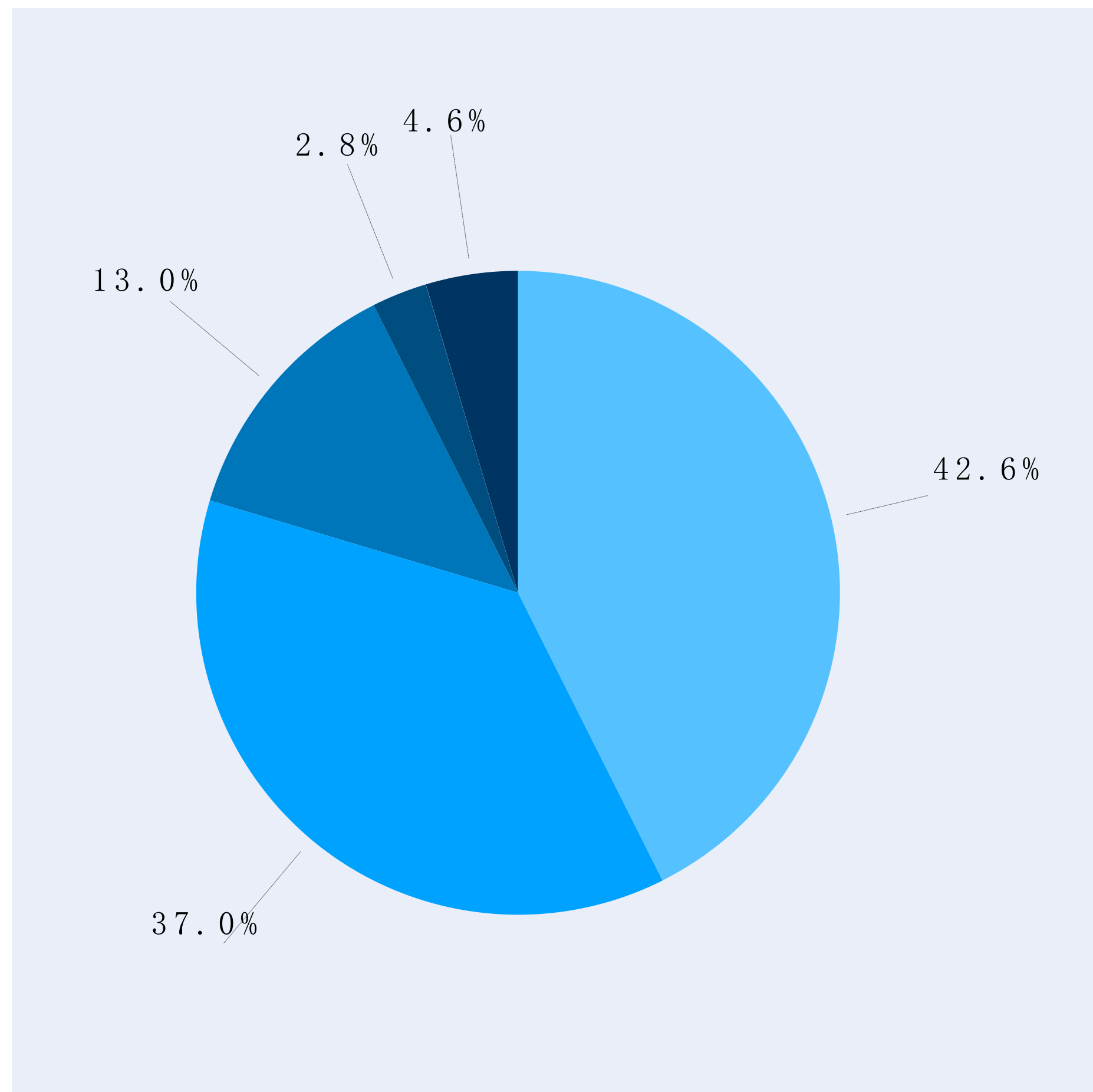
### <自由回答・一部抜粋>

- 50歳：カスタマイズがしにくい。
- 37歳：バグが多少多い。
- 42歳：維持が難しい。
- 57歳：テンプレートが少ない。
- 44歳：自由度がない。保守が大変。
- 58歳：対応がスムーズではないこと。
- 27歳：サービスの選定。

活用中のCMSへの不満、「カスタマイズがしにくい」や「バグが多少多い」などの声が寄せられました。

## Q8

あなたは、アプリそれぞれのコンテンツデータベースを1つに統合し、統一性のあるコンテンツ配信を行いたいと思いますか。



- 42.6% 非常にそう思う
- 37.0% ややそう思う
- 13.0% あまりそう思わない
- 2.8% 全くそう思わない
- 4.6% わからない/答えられない

約8割が、「アプリそれぞれのコンテンツデータベースを1つに統合し、統一性のあるコンテンツ配信を行いたい」と回答しました。

## 「SITE PUBLIS Connect」の特徴

つながる、伝える、進化する

# SITE PUBLIS Connect

- ・外部サービスや外部システムとの連携による情報の一括管理

- さまざまな外部サービスやシステムと自由に連携

外部に公開しているWebサービスだけではなく、企業が保有している顧客データベースや商品データベース、ECパッケージなどの基幹システムと連携できます。柔軟な連携により、既存のCRMやMAツールなどの情報を無駄にせず、活用し続けることができます。

- ヘッドレスCMSでメディアへの配信業務の負担軽減

都度データを取りまとめる時間や手間をかけることなく、Webサイトやスマートフォンアプリ、デジタルサイネージ、スマートスピーカーなど複数メディアへのコンテンツ配信が一元管理できます。膨大なデータを管理し、タイムリーな配信を必要とする流通業界のほか、代理店を多数抱え、メディアによって情報の出し分けが必要な企業などでの活用が期待できます。また、配信コンテンツの一括管理により情報に一貫性を持たせることができ、業界を問わずすべての企業のコーポレートサイトに活用できます。

▼公式ホームページ

<https://publis-connect.jp/>

## お問い合わせ

企業名

株式会社サイト・パブリス

TEL

03-6812-7152

MAIL

[press@sitepublis.co.jp](mailto:press@sitepublis.co.jp)

WEB

<https://www.sitepublis.net/>

会社住所

〒102-0074

東京都千代田区九段南一丁目4番5号

泉九段ビル4階